NIE実践報告

1．タイトル：☆「小論文」指導に役立てる新聞スクラップ

2．学校名

新潟県立新潟江南高等学校

3．実践者名（代表者名）

押木和子

4．学年

第2・3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間　312人（平成17年入学生）

6．単元（本時の学習課題）名

新聞を読んでスクラップをし、世の中のことを知る。

7．目標(狙い)

新聞を読み自分の進路に関する記事をスクラップする習慣をつける。
新聞記事を要約し、コメントする力をつける。

8．評価の視点

意欲を持って積極的に新聞を読んでいるか。
適切に新聞記事を読み取り、自分なりの視点で考えを文章にまとめることができるか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

総合の授業2年次10時間　3年次2時間・自宅課題で生徒各自が新聞スクラップを行う。
現代文の授業で新聞記事を読み取り新聞記事について話し合う授業を行う。（2年次7時間）

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

・学年で新聞を購読し、各教室に新聞を毎日配置した。2年次には「総合」で毎月課題を提示し生徒が記事をスクラップ化した。重要な部分に線を引き、コメントを書いて提出させた。
・現代文の授業で「格差社会」「環境問題」「医療問題」「食の安全」などの記事をとりあげ内容理解を行った。
・3年次はワークシートを用いて新聞の記事の読解課題を課した。
・3年次には推薦入試受験者、小論文試験受験者に一斉に小論文講習を行い、新聞スクラップを課し、その後個別指導を行った。
・教室の掲示板や学年掲示板に新聞切り抜きを貼りだし、生徒に世の中に対する関心を促した。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

入試に小論文が課されている生徒たちには、「新聞を読む機会を得られてよかった。」「自分進路に関わる記事がたくさんあることを知った」「記事の要約が勉強になった」と好評だった。

12．成果と課題

・学年団や教科担当で協力し、日常的に生徒が新聞に読む環境を作ったことは成果があった。
・2年次に学年全体でスクラップを行っていたため、3年になってから新聞を読むことに抵抗がなくなり、特に小論文の学習をしていた生徒は新聞を積極的に読んで、丁寧にスクラップするようになった。その結果生徒の書く小論文の中身が具体的になってきた。
・個別指導で生徒と教員がじっくり新聞記事を読み合えたことで理解が深まったが、3年次学年全体に新聞を使った授業ができなかったことは残念だ。特に理系の生徒たちに新聞をもっと読ませたかった。時数の確保